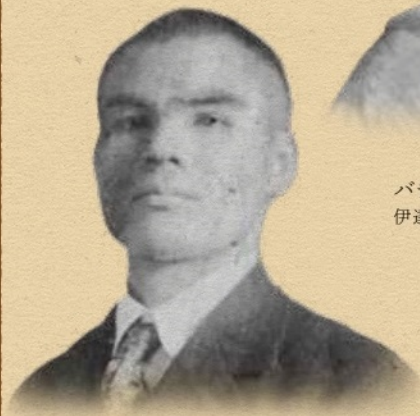




パチラー八重子
伊達市教育委員会蔵



違星北斗
市立小樽文学館蔵



森竹竹市
北海道大学附属図書館蔵

国立アイヌ民族博物館 第6回特別展示

” ア ウ タ リ オ ピ ツ タ “

アイヌ文学の近代
―パチラー八重子、違星北斗、森竹竹市―

2023年6月24日(土)～8月20日(日)

国立アイヌ民族博物館 特別展示室

主催：国立アイヌ民族博物館

後援：公益社団法人北海道アイヌ協会

協力：旭川市博物館、違星北斗研究会、沖縄県立博物館・美術館、帯広市図書館、

掛川源一郎写真委員会、釧路市中央図書館、市立小樽図書館、市立小樽文学館、

仙台藩白老元陣屋資料館、伊達市教育委員会、知里幸恵銀のしずく記念館、

那覇市歴史博物館、日本聖公会北海道教区、

北海道大学植物園・博物館、北海道大学附属図書館、

北海道博物館、北海道立図書館、北海道立文学館、

盛岡市先人記念館、森竹竹市研究会、

よいち水産博物館、余市町立大川小学校、

立教小学校、立教大学図書館(五十音順)



第6回特別展示
特設ページ

National Ainu Museum
6th Special Exhibition
autari opitta
The Modern Age of
Ainu Literature
- Batchelor Yaeko,
Iboshi Hokuto, and
Moritake Takeichi

本展示会のタイトル「アウタリオピッタ」は、パチラー八重子の歌
「ウタンパン 仲良く暮さん モヨヤッカ ネイタバクノ アウタリオピッタ」より抜粋したものです。
八重子の歌について、言語学者の金田一京助は「アウタリ」を「我が同族・同胞」、「オピッタ」を「皆々」とし、
「今は残り少なくなりにはしたれど、相互に仲よく暮して行かうではないか、我が同族の皆々」と訳しました。

ウタシパノ 仲良く暮さん モヨヤツカ ネイタパクノ アウタリオピツタ

本展覧会のタイトル「アウタリオピツタ」は、パチラー八重子の歌「ウタシパノ 仲良く暮さん モヨヤツカ ネイタパクノ アウタリオピツタ」より抜粋したものです。八重子の歌について、言語学者の金田一京助は「アウタリ」を「我が同族・同胞」、「オピツタ」を「皆々」とし、「今は残り少なくなりはしたれど、相互に仲よく暮して行かうではないか、我が同族の皆々」と訳しました。



ふみにじられ 誰しかこれを
ウタリの名 取り返すべき
パチラー八重子

八重子が集めた
フリルのついた
衣服(木綿)
立教小学校蔵



私はただアイヌであると自覚して
正しき道を踏めばよいのだ
遠星北斗

『コタン 遠星北斗遺稿』
(1930年)



半生を自分で使ひし我命
残りをウタリに捧ぐ嬉しさ
森竹竹市

『若きアイヌの詩集 原始林』
(1937年)

竹市直筆の額『アイヌ亡びず』
当館蔵

関連イベント

本展覧会に関連した講演会やギャラリートークなどの関連イベントを予定しています。詳細はウェブサイトををご覧ください。

- プロローグ ウタリのために
- 1章 パチラー八重子ーウタリへの慈しみー
- コラム 掛川源一郎のまなざし
- 2章 遠星北斗ーコタンを夢見てー
- 3章 森竹竹市ーウタリと自身に捧げた人生ー
- エピローグ アイデンティティの行方

知里幸恵の『アイヌ神謡集』(1923年刊)が出版されてから100年が経ち、その序文は、当時のアイヌ民族が置かれた状況を物語っています。その当時、生活の実態を歌や詩として発表したアイヌ民族が各地にいました。パチラー八重子は『若きウタリに』(1931年刊)を、遠星北斗は没後に『コタン 遠星北斗遺稿』(1930年刊)がまとめられ、森竹竹市は『若きアイヌの詩集 原始林』(1937年刊)を出版しています。彼らはアイヌの三大歌人と呼ばれます。八重子や竹市の日常を写した掛川源一郎の写真とともに、彼らが残したノートや民具等を展示資料として、当時のアイヌ民族による歌や詩などから、社会状況、歴史をふりかえります。

休館日

毎週月曜日(祝日または休日の場合は翌日以降の平日) 7月10日(月)、7月17日(月・祝)、8月14日(月)は開館。7月18日(火)は休館。

Closed on: Mondays (when Monday is a holiday, the museum will close on the next business day).

The Museum will be open on: 10 July (Mon), 17 July (Mon), and 14 August (Mon). The Museum will close on 18 July (Tue).

料金

民族共生象徴空間(ウポボイ)入場料

特別展示観覧料

*国立アイヌ民族博物館の基本展示室の観覧料は、民族共生象徴空間(ウポボイ)の入場料に含まれます。

*特別展示観覧券は、博物館館内でお買い求めください。(当日券のみ)

■ 民族共生象徴空間(ウポボイ)入場料(税込)

	個人	年間パスポート
大人	1,200円(960円)	2,000円
高校生	600円(480円)	1,000円
中学生以下	無料	—

■ 特別展示観覧料(税込)

大人	300円(240円)
高校生	200円(160円)
中学生以下	無料

※()は20名以上の団体料金。

※障がい者とその介護者各1名は無料です。入場の際に証明書をご提示ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部取り扱いを変更しております。入場予約方法や最新の情報は、ウェブサイトからご確認ください。

入館について

当館の入場の際には、事前にご予約なして展示をご観覧いただけますが、展示フロア混雑時でも入場できる日時指定の事前予約を推奨しております。

Advance reservation for the museum is not necessary. However, we recommend you make an advance reservation for a specific date and time when the exhibition floor is crowded.

アクセス

札幌から約1時間、新千歳空港から約40分

乗用車 白老インターから車で約10分

電車 JR白老駅から徒歩約10分

電車を利用してウポボイへご来園の方は、「白老町交流促進バス」のご利用が便利です。



北海道白老郡白老町若草町2丁目3-1

詳しくは国立アイヌ民族博物館のウェブサイトへ

国立アイヌ民族博物館 検索 <https://nam.go.jp/>

